

The Nichicon News

We introduce the latest news and special cases.

Gベース の製造販売を始めました

NETIS登録番号:HR-050011-VE(旧番号) NNTD登録:No.1148

(防護柵用基礎ブロック)

下部構造物の直上に設置可能

衝突事故が発生した場合も、中空部を設けて設置されたGベースは、

下部構造物に衝突荷重の影響を及ぼさない設計をしています。

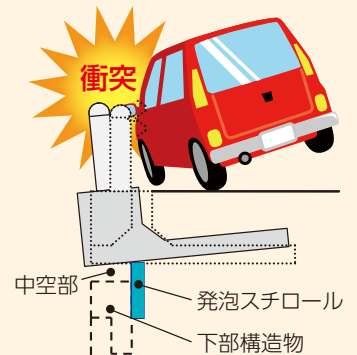
▲積ブロック直上設置の事例



▲プレキャストL型擁壁直上設置の事例

参考文献「道路土工-擁壁工指針」
平成24年7月(P.213)より

付属施設の基礎は擁壁と分離し、その影響が擁壁本体に及ばないように計画するのが望ましい。用途条件や周辺環境条件等の理由から、付属設備を擁壁に直接取り付けられる場合には、付属設備が擁壁に及ぼす影響を十分考慮して必要な措置を講じるものとする。



維持管理が容易

万が一の事故による損傷時も早期回復が可能となります。

事故後の防護柵及びGベースの取り替えをわずか2日で復旧完了した事例もあります。



擁壁などの下部構造本体を現状維持したまま、防護柵基礎を取り換えるだけで、道路交通サービスを回復できます。

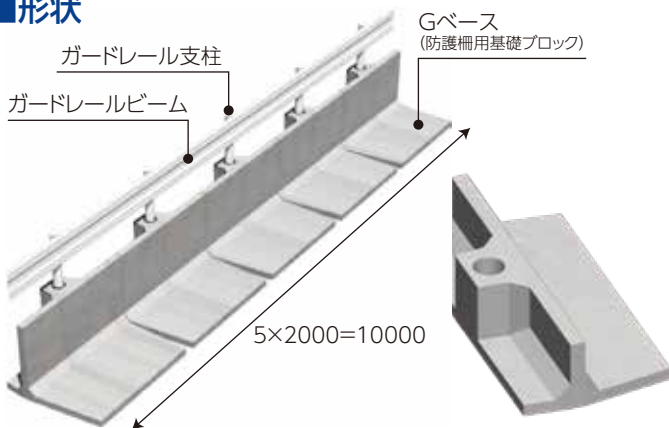
豊富なバリエーション

総高500～800までの規格を保有しているため、背面に側溝を設置する計画が可能になります。

	必要寸法	Gベース標準製品			
		H400	H500	H600	H700
自由勾配側溝 (300×300)	背面高 495mm以上	—	—	○	○
道路用側溝 (300A)	背面高 515mm以上	—	○	○	○
現場打防護柵基礎	総高 800mm	—	—	—	○

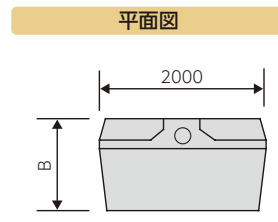
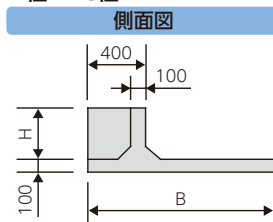


形状

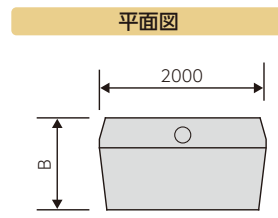
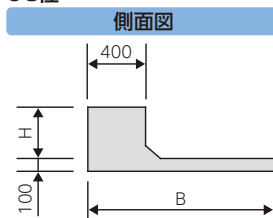


※Gベースは基礎の長さを10mとして設計しています。

A種/B・C種



SC種



タイプ		H(mm)	防護柵の種別	B(mm)	参考質量(kg)
防護柵基準タイプ	直上タイプ 下部構造の天端直上に設置する場合		B・C種	1500	1015
			A種	1800	1170
			SC種	1900	1635
			B・C種	1500	1095
			A種	1800	1260
	非直上タイプ 下部構造の直上に設置しない場合		B・C種	1500	1175
			A種	1800	1340
			SC種	1900	2020
			B・C種	1500	1270
			A種	1800	1430
			B・C種	1000	795
			A種	1500	1040
			B・C種	1000	875
			A種	1500	1125
			B・C種	1000	955
			A種	1500	1205
			B・C種	1000	1045
			A種	1500	1295

- 標準製品での曲線施工対応が可能です。(R15mまで)
- ガードレールをはじめ、ガードパイプ、ガードケーブルにも対応可能です。
- 縦断勾配B、C種15%、SC種12%まで対応可能です。

※Gベースは、平成16年制定「車両用防護柵標準仕様・同解説」「防護柵の設置基準・同解説」に準拠しています。

